

Ⅲ 子育てを地域で支えましょう

子どもは、明日の社会を支え、未来を拓くかけがえのない存在です。

子どもが健やかに育つよう、家庭、地域などが連携して、子育てに取り組みましょう。

特に、子育てに悩んでいる親や、相談する相手が無くて、家庭の中に閉じこもっている親子に対して、地域の方々や団体などの関係機関が協力、連携して親子を温かく見守り、支えてあげましょう

1 地域で子育てに取り組みましょう

○子どもたちを健やかに育てましょう

- ・明日への夢と希望をもつ子どもたちが健やかに育つよう、父親も子育てに積極的にかかわり、家庭の子育て力を向上していきましょう。
- ・子どもたちが望ましい食習慣を身につけ、将来にわたって健康な生活を送ることができるよう、家庭、学校、農漁業団体、食品関連事業団体など関係機関が連携して、農漁業体験学習や学校給食での地域食材の利用などを通じて「食育」を推進しましょう。

◇「食育くらぶ ひよどり」(コープ委員会)が、子どもたちと料理会を実施

○子育て家庭のSOSをキャッチしましょう

- ・県民一人ひとりが地域での助け合いの心を育て、子育て家庭を温かく見守りましょう。
- ・子育てに悩んでいる親や、子どもの異常を見かけたり、聞いたりした場合には、行政、地域、医療機関などの専門機関に伝えて、相談しましょう。

○子育て家庭に声をかけたり、相談に乗ったりしましょう

- ・地域では、家庭の中に閉じこもっている親子に声をかけたり、子育てに悩んでいる親の相談に乗り、子育てを応援しましょう。

○子育て経験者や高齢者の知識や能力を活用しましょう

- ・子育て経験者や高齢者の知識や能力を活かして、地域での相談体制を強化し、子育て支援のネットワークを育てましょう。
- ・子育て支援者のエンパワーメント(能力向上)を図って、継続的に研修を行い、リーダーを養成しましょう。

○多世代の人との交流を進めましょう

- ・子育ての理解を広げるとともに、子どものコミュニケーション能力を向上させるために、子どもと高齢者や中・高校生、大学生などの多世代の人との交流を進めましょう。



子どもと若い世代との交流

○地域での保健・医療機関との連携を進めましょう

- ・地域では、保健、医療などに関する相談に対応できるよう、また、保健・医療機関から子育て家庭の情報を地域に提供してもらえよう、さらには、保健・医療機関から地域の子育て情報を家庭に提供してもらえよう、保健・医療機関との信頼関係の上に立った、連携体制を整えましょう。

○上記の取り組みが、社会の仕組みとして、誰でも利用できるようにしていきましょう。

2 子育て家庭、親、子どもの活動の場づくりを進めましょう

○子育て家庭が交流できる場をつくりましょう

- ・気兼ねなく、集まって相談や交流ができる場所をつくりましょう。その際、既存施設の有効利用も検討しましょう。
- ・交流のための楽しいプログラムを提供しましょう。



子育て家庭の交流

- ◇「六アイぴよぴよサロン」（4か月以上1歳未満を対象）、「六アイひよこサロン」（1歳以上2歳未満を対象）が育児支援と母親同士のふれあい交流を実施
- ◇「ぽんぽん」が、親と子のふれあいを大切にしたい遊びの伝達を通じた交流を実施

○親がリフレッシュする場をつくりましょう

- ・時には、子どもを預かってもらって、親が子どもと離れ、自分を見つめたり、自分が楽しめる時間や機会をつくりましょう。

○子どもの体験の場をつくりましょう

- ・子どもが、自然や人とふれあう中で、基本的なルール、感性、社会性を身に付け、意欲をもって、自立した人間となるように、ボランティア体験、自然体験、社会体験などの様々な活動の機会をつくりましょう。



3 子育て情報の提供を進めましょう

○子育て支援グループ間の連携を図りましょう

- ・子育て支援グループが互いに話し合う機会をつくり、情報を交換しましょう。

○地域の子育て情報の提供の仕組みを充実しましょう

- ・子育てに関する地域の様々な情報をホームページや紙媒体などにより、体系的、総合的、継続的に提供するようにしましょう
- ・地域では、子育て情報を提供する方、情報を入手する方、情報をパソコンに入力する

方など多くの担い手（ボランティア）を確保し、情報を随時更新できる体制を整えましょう。

◇インターネットを利用した子育て情報掲示板を試験的に設置(H16)（ビジョン委員会活動）

○家庭教育のための情報を提供しましょう

- ・子どもに、基本的な生活習慣や社会的マナー、自制心や自立心などを育成するために、家庭教育に関する学習機会や情報を提供しましょう。
- ・父親のための子育て学習の機会や「父子手帳」といった父親のための子育て手帳をつくるなど、父親に情報を提供しましょう。

○子育て家庭、親、子どもが楽しめる場の情報を提供しましょう

- ・子育て家庭が交流したり、親がリフレッシュしたり、子どもが活動したりして、楽しめる場の情報を提供しましょう。